

ツール特集

配布用

リーダー力強化ファイル

～信頼を築き的確に指示を伝える対話力向上ガイド～

やまさだ経営コンサルティング ICF 認定コーチ・特定社会保険労務士 山口 貞利

■「五者」のリーダーシップ発揮を

この原稿の前半部分は少し特殊な場所で書いています。この歳になって人生初の骨折を経験し、手術のため3週間ほど入院しました。その間、痛みや不安も感じながら多くの学びも得ました。大阪南部にある有名な大学病院で、医師・看護師等のプロフェッショナルな仕事のあり方を身近で感じることができました。私は研修講師をする際に「教師は五者たれ」と時々耳にする言葉を「リーダーは五者たれ」と読み替えて管理職の皆さんに話すことがあります。五者とは、医者・学者・芸者・易者・役者です。ここに「医者」が入っています。今回私はじっくりと時間をかけてプロの医師や看護師の患者への対応を目の当たりにして、「リーダーは五者たれ」というマネジメントの考え方を自分なりに改めて整理できました。治療中の心細くなっている患者をいかに勇気づけるか、いかに効果的に治療するか、この考え方は職場のマネジメントにそのまま応用できます。プロの医療従事者は常に患者の立場で考え言動しアドバイスすることによって信頼を得ています。医療以外の職場でもほぼ同じことがいえます。将来展望が描きにくいといわれるYZ世代の若者にも向き合える優れた上司の手本になると確信して病院を後にしました。本稿では、前半に医療現場のマネジメントと重ね合わせながら、後半ではそれらに関連する上司のリーダーシップを探ってみます。(著者)

CONTENTS

- No. 1 マネジメントのPDCAは医療と重なる
- No. 2 何のために働くのか？それを伝える
- No. 3 名前で呼ぶ効果を意識する
- No. 4 「その調子です」という声掛け
- No. 5 あなたの指示は伝わっているか？
- No. 6 せっかく育てても……とっていないか？
- No. 7 ダイバーシティを理解し、実践できているか？
- No. 8 「報連相」は部下だけがするものか？
- No. 9 ファシリテーション能力を発揮する
- No.10 怒らないこと、そして叱る前に必要なことは？
- No.11 上司はエラくない
- No.12 仕事がうまくできない人はダメなのか？
- No.13 部下に注意しないといけないとき
- No.14 1on1ミーティングをどう使うか？
- No.15 リーダーの孤独と判断をサポートするヒント

本シートのPDFファイルをご用意しました。本誌年間購読者様に限りご提供します(無料)。ご希望の方は editors@busi-pub.com まで購読者番号(本誌送付の宛名ラベルに記載)を明記の上、E-mailでお申し込みください(TEL・FAXは不可)。2023年7月31日まで。

■山口 貞利 (やまぐち さだとし) ICF認定コーチ・特定社会保険労務士

1961年生まれ、関西学院大学卒業、(株)千趣会にて、商品企画、開発を担当後、人事部にて人事制度改革業務推進。その後マネジャーとして採用、教育、労務を担当。2007年人事コンサルタント・特定社労士の事務所を開設。現在、経営幹部のコーチ、人事制度の構築支援と年間150回の研修等を行う。主なテーマはコーチング、マネジメント、人事労務、タイムマネジメント、人事考課、キャリア。資格：特定社労士、ICF認定コーチ、GCS認定コーチ、行政書士(未登録)、キャリアコンサルタント、AFP等。

■やまさだ経営コンサルティング

コーチと研修、人事制度コンサル等労務顧問を専門に活動

●住所：大阪市中央区南船場3-6-24 IBC心斎橋west602-2号

●URL：<http://www.yamasada.info> ●Mail：yamasada_sr3@mui.biglobe.ne.jp

